



財団法人 神奈川県予防医学協会の沿革

年	協会の動き	検診・検査の動き
<p>昭和 30年</p> <p>32年</p> <p>33年</p> <p>34年</p> <p>35年</p> <p>36年</p> <p>37年</p> <p>38年</p>	<p>1月24日 横浜南区中村町の県衛生研究所の一隅を借り神奈川県寄生虫予防協会が任意団体として発足。全国では10団体が活動</p> <p>9月17日 日本寄生虫予防会設立、支部となる</p> <p>4月 寄生虫保卵率を下げる“10%運動”提唱</p> <p>9月 検査室、事務所を金沢区の青木医院（当時の理事長宅）へ移す</p> <p>11月 第1回県寄生虫予防大会を県、横浜市、国保連、町村会と共催</p> <p>1月 “オーミン号”で農村各地区巡回PR。寄生虫予防を訴え講演会、映画会を開催。学校集団検査の自治体予算化がすすむ</p> <p>8月 横浜市南（現在は港南）区上大岡町に検査所を新築、事務所とともに移転</p> <p>11月 県“衛生まつり”を開催。以後、県寄生虫予防大会はこれへ合流</p> <p>5月 協会の財団法人認可</p> <p>8月 第6回寄生虫予防全国大会を箱根で主催</p> <p>8月 湘南内陸部農村地域の鉤虫実態調査を基礎に協会は独自で県、市に陳情。翌年予算化</p> <p>6月 胃がん検診を主体とする中央診療所を中区長者町に開設</p> <p>12月 胃集団検車「長寿1号」完成</p>	<p>1月 寄生虫検査を開始</p> <p>9月 胃がんのスクリーニングテストとして便潜血反応検査を開始</p> <p>7月 腸内細菌検査を開始</p> <p>6月 消化器検診を開始</p> <p>10月 学童腎臓病検診を開始</p>
		
<p>39年</p> <p>40年</p> <p>41年</p> <p>42年</p> <p>43年</p> <p>44年</p> <p>45年</p> <p>46年</p> <p>47年</p>	<p>3月 事務所を横浜市中区長者町へ移転</p> <p>3月25日 財団法人神奈川県予防医学協会設立</p> <p>9月 日本対ガン協会神奈川県支部になる</p> <p>12月 財団法人予防医学事業中央会設立、支部になる</p> <p>10月 横浜市中区住吉町「松村ビル」に事務所、診療所を移転</p> <p>10月 小田原市で第1回ガン征圧全国大会を実施</p> <p>1月 第2回全戸検査室会議を箱根で主催。以後6回、神奈川で主催</p> <p>4月 「肺がん予防の公衆衛生学的研究」3年計画でスタート（川崎市と共同、日本対ガン協会補助）</p> <p>10月 全国労働衛生検診機関連合会（後の全国労働衛生団体連合会）設立</p> <p>8月6日 財団法人神奈川県寄生虫予防協会解散、予防医学協会に合併</p> <p>4月 集団検診センター、横浜市金沢区鳥浜町に開所</p> <p>10月 登録衛生検査所として県知事から認可される</p>	<p>7月 血清反応検査を開始</p> <p>9月 貧血検査を開始</p> <p>4月 学童心臓検診を開始</p> <p>4月 定期健康診断を開始</p> <p>4月 特殊健康診断を開始</p> <p>9月 作業環境調査を開始</p> <p>4月 学童糖尿病検診を開始</p> <p>1月 検診車による子宮がん検診を開始</p> <p>2月 精密総合検診（人間ドック）を開始</p> <p>5月 施設での子宮がん検診を開始</p> <p>11月 郵送スミアによる子宮がん検診を開始（県産婦人科医会との協力事業）</p> <p>3月 横浜市に協力し公害病認定のための検診を実施</p> <p>4月 保健相談を開始</p>

年	協会の動き	検診・検査の動き
昭和		
48年	8月 箱根で「第4回予防医学推進・第17回寄生虫予防全国大会」を主催	4月 水質検査開始 11月 肺がん検診を開始 婦人検診を開始
49年	7月 協会に「神奈川労働衛生コンサルテーションセンター」開所	
51年	3月 作業環境測定機関として認可される	7月 「神奈川から肺と胃がんをなくす会」(後のACクラブ)の会員制検診を開始
52年	6月 集団検診センター別館新築 9月 労働衛生コンサルタント懇話会発足 協会内に事務局 10月 高血圧性疾患予防友の会「こうゆう会」設立総会 協会内に事務局	11月 先天性代謝異常症の検査開始 4月 子宮体がん検診を開始 5月 地域での乳がん検診を開始 6月 施設での乳がん検診を開始 6月 施設での腎臓病精密検診を開始 7月 地域での肺がん検診を開始 8月 簡易専用水道検査を開始
54年	2月 簡易専用水道の指定検査機関となる	
55年	1月 水質検査の指定検査機関となる 2月 事務局、診療所を横浜市中区日本大通に移転、健康教育センターを設置 9月 予報医学推進全国大会を主催	3月 大腸がん検診を開始 10月 神経芽細胞腫検査を開始
57年		
58年	汎用コンピュータ導入、日本大通ビル3階西側を全面改装のうえコンピュータ室拡充整備	
59年	東日本がん征圧大会(桜木町)を主催	4月 副腎過形成スリーニングを開始 5月 健康づくりプログラムを開始
63年		
平成		
元年	10月 労働安全衛生法改正に伴う検診・検査受け入れ体制の確立	9月 運動機能測定(THP)を開始
2年	10月 第42回保健文化賞(団体賞)を受賞	
3年	4月 新コンピュータシステム「MEDIX KANAGAWA」を稼働	4月 腹部超音波検診を開始
4年	4月 集団検診センター新館竣工。完全週休2日制の導入 10月 集団検診センター本館・別館の改修	
6年	5月 関内施設の改修 10月 政府管掌健康保健の成人病予防健診指定機関の認定を受ける 12月 中央診療所が自動化健診優良施設の認定を受ける	
7年	1月 創立40周年を迎え、2月から記念事業を展開	4月 骨粗鬆症予防検査を開始
8年	3月 日本大通ビル7階北側を全面改修のうえ高速螺旋CTを導入設置	4月 高速螺旋CTによる肺がん検診を開始 4月 前立腺がん検診を開始
10年	4月 一日人間ドックが健診システムを再構築し稼働	
11年	10月 労働衛生機関評価制度の認定機関となる	
12年	11月 労災保険指定医療機関認定	
13年	10月10日 川崎支所開設 12月 マンモグラフィ健診施設画像認定	
14年	7月 「健康ライフ倶楽部(会員制健康管理)」発足 12月 マンモグラフィ検診車「すこやか号」宝くじ協会から補助	8月 肺がん読影受託(厚木市基本健診) 10月 ライフサポート・クリニック開始
15年	3月 メンタルヘルス「事例検討会」発足	6月 シックススクール測定を開始 8月 神経芽細胞腫検査が休止される 11月 血圧脈波検査開始(人間ドック)
17年	1月 創立50周年を迎えた	
18年	3月 「ISO9001認証(水質・簡易専用水道検査)」取得 3月 集団検診センター4階部分コンピュータシステム室・情報処理室に全面改修 9月 プライバシーマーク許諾書取得	
20年	2月 人間ドック・健診施設機能評価の認定施設となる 3月 「ISO9001認証(作業環境調査)」取得	